

身近な地質スポット

愛知県と岐阜県の県境／土岐川が庄内川に代わる

河川沿いをドライブしていると、いつの間にか河川の名前が変わっている！。「道に迷った?」、「なぜ?」、「どこから?」と不思議に思ったことはありませんか。実は、行政の管轄区間を跨ぐとよくあることなのですが、知らないとおどろきます。河川の名前は地域により様々、歴史と深く結びつき、愛称を含め、幾多の名前が存在します。名古屋市街地の北から西側を取り囲むように流れる庄内川は、岐阜県内では土岐川と呼ばれています。庄内川と土岐川の分岐点、おおむね愛知県と岐阜県の県境に架けられた諏訪大橋で、対岸へ渡れます。河床では亀裂の多く発達したジュラ紀のチャート露岩を観察できます。また、対岸山腹ではJR中央本線の廃線跡（単線）を見学することができます。明治初期に建設された中央本線は、施設の老朽化、災害防止、複線化などの理由で廃線区間がいくつも存在し、鉄橋やトンネルは当時のまま保存、放置されています。2億年程前に形成された岩盤、それを削り流れ続ける河川、100数十年前の鉄道、近年の諏訪大橋を一度に眺め、自然と人工、時代の移り変わりを目のあたりにできます。個人的には廃路となったトンネル入口を前にし、ゆっくりと流れる時間を感じ、安堵感にひたるのが好きなのですが、みなさまはいかがでしょう。一度行って見て下さい。



写真-1 土岐川から庄内川への分岐点(岐阜県と愛知県の県境)



写真-2 自然と人工、過去と現在とが混在する現地の風景



余談ですが、

この地質スポットの近くにはこんなお店がありました。

華立断層



大石屋



大石屋 岐阜県多治見市光ヶ丘1-139
営業時間: 11:00~15:00
定休日: 火曜日、第3月曜日



色は濃いがあっさりしたしょうゆラーメン。
お盆に乗せられ、スープこぼれんばかりのラーメンが配膳されます。
肉厚なチャーシューが3枚もはいつてボリューム満点。
チャーシュー麺を頼むと肉が山盛りだとか。

お昼時、たくさんの方が並びます。
駐車場あり。
外には入店待ち用の長椅子があります。



座席は、畳に長机、座布団が置かれており、他のお客さんと和気藹々。
昼時は入店を待つ人で行列が絶えない人気店。